

介護予防学、地域理学療法学

准教授 中原 和美
Kazumi Nakahara

現在の研究テーマと内容

地域包括ケアの構築に向け、リハビリテーション専門職に求められる内容は、医療や在宅支援関連の施設・事業におけるリハビリテーションだけでなく、地域における予防事業の支援まで幅広くなっている。現在は、地域在住高齢者を対象とした、予防事業の効果、フレイルの予防法及び簡便な評価方法の開発、地域ボランティアの活用効果を主要なテーマとして取り組んでいる。

これまでの研究成果と今後の展開

Effective extraction of physical function tests for screening community-dwelling older people with mild cognitive impairment, World Confederation for Physical Therapy Congress 2019 Geneva(Geneva (Switzerland))

Exercise intervention implemented by trained volunteers improves health-related quality of life among Japanese community-dwelling older females: an intervention study, Journal of Physical Therapy Science 29,pp.2126-2132

大学院を目指すみなさんへメッセージ

今までのクリニカルクエスチョンを基に、研究課題を設定し、地域リハビリテーションの理念に沿った研究計画を立案しています。研究成果を対象者の生活の維持・改善に役立てることを一緒に目指してみませんか。